

**令和3年度（令和2年度対象）**

# **教育委員会の点検・評価**

**令和3年8月**

**洞爺湖町教育委員会**

## も く じ

I	はじめに	.....	1～2
	1. 点検及び評価とは		
	2. 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価		
	(1) 評価の流れ		
	(2) 評価の対象		
	(3) 事務事業における評価者		
	(4) 評価シートの作成		
	(5) 達成度評価基準		
	(6) 行政評価委員による意見・提言		
	3. 教育行政評価の公表		
II	教育委員会の活動状況	.....	3～6
	1. 教育委員会議の開催状況		
	2. 委員の活動状況		
III	事務事業評価及び評価委員の意見・提言	.....	7～32
IV	資料 (別添)		
	1. 令和2年度教育行政執行方針		
	2. 令和2年度各種事務事業の実績等		

## I はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）が、平成20年4月1日から施行されました。この改正法では、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」が教育委員会に義務付けられています。

### 1 点検及び評価とは

教育行政の点検及び評価とは、洞爺湖町教育委員会が行っている行政活動（施策・事業）をどのような成果を上げたのかという観点から点検・評価し、その結果を改革・見直しに結びつけ、行政運営の質の向上を図るものです。また、住民にわかりやすく説明することによって、行政活動の透明性を高めるための経営手法でもあります。

#### (1) 点検及び評価の目的

点検及び評価の目的は、

- ①政策や行政活動（施策・事業）の質を向上させること。
- ②行政の説明責任を果たすこと。
- ③教育行政に対する町民満足度を高めることです。

### 2 洞爺湖町教育委員会の点検及び評価

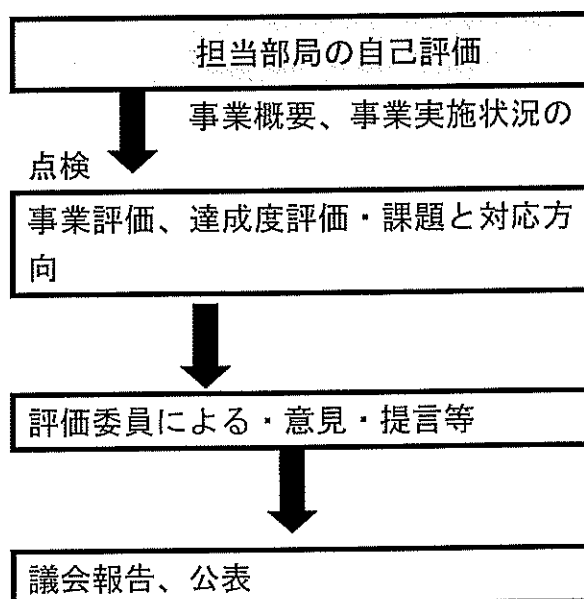
教育行政の点検及び評価をまとめて、「行政評価」とします。

#### (1) 評価の流れ

教育委員会による自己評価に外部の視点から評価委員の意見を組み込むことにより、行政評価の客観性や改革・見直しの実効性を高めていきます。

各担当部局では、全事務事業を対象に、所定の評価シートを用いて「自己評価」を行います。

その後、評価委員が各事務事業に対する意見・提言等を示します。



(2) 評価の対象とする事務事業

前年度の「教育行政執行方針」に明記された事務事業の主なものを評価対象とします。

なお、個々の事業をまとめた「主要施策」ごとに評価シートを作成し、評価事務の簡略化及び明確化を図ります。

※ 教育行政執行方針の括りを「推進項目」…大項目、「主要施策」…中項目、「事務事業」…小項目に分類します

(3) 事務事業における評価者

事務事業評価は、担当部局が評価者となり、評価シートは所管課が作成します。

(4) 評価シートの作成

- ①「主要施策」に括られた「事務事業」の概要を記載
- ②上記事務事業の実施状況を簡潔に記載
- ③事務事業ごとの決算額を記載（過去2カ年）
- ④担当部局の「評価」を事務事業ごとに簡潔に記載
- ⑤「達成度」について、下記の基準により評価し、簡潔な説明を記載
- ⑥「課題と対応方向」について、具体的に記載

(5) 達成度評価基準

評価対象事務事業について、事業の達成度についてA～Dの4段階で評価します。

評価	事業達成状況	
A	予定事業の実施状況について	概ね達成できた
B		一部に未実施があったが、達成度は比較的高い
C		未実施のものが多く、達成度が低い
D		ほとんど実施できなかった

(6) 行政評価委員による意見・提言

担当部局が作成した「主要施策」ごとの評価シートを行政評価委員に提示・説明し、施策・事業への意見・提言を求める。

3 教育行政評価の公表

行政評価委員の意見・提言等を記載した評価報告書を町議会に提出し、町ホームページ等で公表します。

<報告書内容>

- ①教育委員会活動報告
- ②事務事業評価シート
- ③教育行政執行方針（参考）

## II 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会議開催状況

令和2年第2回臨時会 5月15日

番 号	案 件
報告第11号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第12号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第13号	臨時代理の報告について(洞爺湖町教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について)
指名第1号	洞爺湖町教育委員会教育長の職務代理者の指名について
議案第14号	洞爺湖町育英資金の基金条例の一部改正について
議案第15号	洞爺湖町育英資金の基金条例施行規則の一部改正について

令和2年第3回定例会 7月27日

番 号	案 件
報告第14号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年4月会議提出一般会計補正予算(第1号))
報告第15号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年5月議会提出一般会計補正予算(第2号))
報告第16号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年5月議会提出一般会計補正予算(第3号))
報告第17号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第18号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第19号	令和元年度洞爺湖町学校給食会計決算について
議案第16号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について
議案第17号	洞爺湖町表彰条例に基づく被表彰候補者の内申について

令和2年第3回臨時会 8月28日

番 号	案 件
報告第20号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年7月議会提出一般会計補正予算(第4号))
報告第21号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第18号	洞爺湖町通学路等安全推進会議設置要綱の一部改正について
議案第19号	令和3年度から使用する中学校用教科用図書について
議案第20号	洞爺湖町子ども読書活動推進計画(第3次計画)の策定について
議案第21号	令和2年度(令和元年度対象)教育委員会の点検・評価について

令和3年第2回定例会 3月26日

番 号	案 件
報告第 7号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第 8号	臨時代理の報告について（学校教職員の人事異動）
報告第 9号	臨時代理の報告について（洞爺湖町議会令3年3月会議提出一般会計補正予算（第11号））
議案第10号	洞爺湖町教育委員会部局の人事異動について
議案第11号	洞爺湖町教育委員会行政組織規則の一部改正について
議案第12号	洞爺湖町育英資金の基金条例施行規則の一部改正について
議案第13号	洞爺湖町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例施行規則の一部改正について
議案第14号	洞爺湖町教育委員会事務専決規程の一部改正について
議案第15号	洞爺湖町心身障害児保育実施要綱の一部改正について
議案第16号	修学旅行の引率業務等に従事する町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について
議案第17号	洞爺湖町立学校に勤務する校務員の勤務等に関する規程の一部改正について
議案第18号	洞爺湖町立小中学校における携帯電話・スマートフォンの取り扱いに関する基本的指導方針について

令和2年第4回定例会 10月28日

番 号	案 件
報告第22号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年9月会議提出一般会計補正予算(第5号))
報告第23号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第24号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
協議第3号	学校訪問総括について
協議第4号	保育所訪問総括について

令和2年第4回臨時会 11月16日

番 号	案 件
議案第22号	ポストコロナ期における学びの在り方を踏まえた新あぶた保育所建設の基本方針の策定について

令和3年第1回定例会 1月28日

番 号	案 件
報告第1号	臨時代理の報告について(学校教職員の人事異動)
報告第2号	臨時代理の報告について(洞爺湖町議会令和2年12月会議提出一般会計補正予算(第8号))
報告第3号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第4号	社会教育課所管の各種事務事業の取組状況について
報告第5号	令和3年度当初予算要望概要について

令和3年第1回臨時会 2月15日

番 号	案 件
報告第6号	管理課所管の各種事務事業の取組状況について
議案第1号	令和3年度洞爺湖町一般会計予算(民生費・教育費関係)について
議案第2号	令和3年度教育行政執行方針について
議案第3号	洞爺湖町育英資金の基金条例の一部改正について
議案第4号	洞爺湖町学校給食センター条例の一部改正について
議案第5号	洞爺湖町立読書の家条例の一部改正について
議案第6号	洞爺湖町社会教育施設条例の一部改正について
議案第7号	洞爺湖町体育施設条例の一部改正について
議案第8号	洞爺湖町文化財施設条例の一部改正について
議案第9号	洞爺湖町保育所条例の一部改正について

## 2. 委員の活動について

4月 2日	町立学校職員着任式
9月29日	学校訪問（虻田小学校・洞爺温泉小学校・虻田中学校）
9月30日	学校訪問（とうや小学校・洞爺中学校・虻田高等学校）
10月 2日	保育所訪問（4保育所）

- ・町内各小中学校及び虻田高等学校入学式、卒業式
- ・管内教育委員会連絡協議会総会
- ・北海道市町村教育委員研修会
- ・姉妹都市箱根町親善訪問使節団歓迎式
- ・フレンドリーツアー三豊市小学生歓迎式
- ・洞爺湖町成人式
- ・胆振管内教育委員研修会

上記入学式、卒業式以下の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席見合わせ及び事業中止となった。



# 事務事業評価

## 及び評価委員の意見・提言

### 行政評価委員総括意見

令和2年度の教育行政執行方針に基づき26区分の主要施策に分けた主な事務事業について、各担当課による点検、評価の内容をもとに、第三者の立場から意見、助言を申し上げます。

評価対象の各種事務事業については、新型コロナウイルスの感染拡大によりやむを得ず見合わせた事務事業はあるものの、困難な状況の中で目標は概ね達成されており、感染拡大の予防や学生の就学継続に向けた経済負担の軽減を図るなど、課題や対応方向を的確に捉え、継続実施の事務事業と併せ、進展が見て取れます。

このたびの評価を通して、特に次の点について申し上げます。

1点目は、限られた予算の中での子育て支援や幼・保・小の連携による学校教育のより充実した取り組みについて評価するとともに、北海道・北東北縄文遺跡群などの地域素材を活かした魅力あるまちづくりを進め、教育活動へ繋げていただきたいと思います。

2点目は、洞爺湖町が誕生し、15年が経過していますが、本町保育所と入江保育所の統合については、基本計画の策定に向けた取り組みが進められていますが、学校施設の老朽化の方向性については、示される状況には至っていません。

特に老朽化の著しい虻田中学校の施設のあり方や給食センターの統合を含めた今後のあり方については、早急に課題解決の方向性を町民へ示していくことが必要と考えます。

3点目は、今般の新型コロナウイルス感染症の完全な収束は難しい状況にあると考えます。

今後はウイズコロナの状況下で、これまでとは違う活動が想定されることから、事業内容の精選など、新たな発想による各種事業の取り組みが必要であると思われます。

### ●洞爺湖町教育委員会行政評価委員

区分	氏名	摘要
委員長	村上 正弘	洞爺地区
委員	永井 信久	洞爺湖温泉地区
委員	大西 栄美	虻田地区

事務事業評価シート

		担当課	管理課			
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進					
主要施策	ア 子育て支援の充実					
取り組みの概要(事務事業)	①保育所及び私立幼稚園の利用者負担額の軽減対策の実施 ②一時預かり事業 ③町内私立幼稚園への制度に基づく支援 ④幼児教育・保育の無償化					
実施状況	①平成29年度より、洞爺湖町内に住所を有し就学前児童を扶養する保護者に対し、利用者負担額を2分の1助成することで経済的負担の軽減により子育ての支援を行った。 ②平成26年度に子育て支援センターで試行し、平成27年度から常設保育所で本格実施。虻田地区は本町保育所、洞爺湖温泉地区は桜ヶ丘保育所、洞爺地区は洞爺保育所で実施した。(各保育所定員1日2名) ※実績(延べ人数)本町保育所 20名、桜ヶ丘保育所 3名、洞爺保育所 0名 計 23名 ③町内私立幼稚園が、子ども・子育て支援法に基づく施設型給付施設へ移行したことにより、制度の趣旨を踏まえた給付費の支援を実施した。(3/1 洞爺湖町在住児童 45名) ④令和元年10月からは、幼児教育無償化がスタート。3歳以上については利用者負担金(保育料)を無償 また、副食費月額 4500 円の負担額については、2分の1助成を実施した。なお、3歳未満児については、非課税世帯は無償とした。 ※無償化の初年度(元年度)については、地方特例交付金充当。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	①利用者負担金助成		11,024	6,290	0	6,290
	②常設保育所運営事業(一時預かり事業)		6,317	7,908	4,524	35
	③私立幼稚園施設型給付費事業		29,807	37,482	24,008	0
④幼児教育・保育の無償化		9,974	0	9,974	0	
評価	①利用者負担額を2分の1助成することにより、保護者の働きやすい環境を整えることができた。 ②3地域でそれぞれ実施され、利用者も定着しており、地域の子育て支援のサポートができた。 ③町内私立幼稚園が、新制度による施設型給付施設へ移行したことに伴い、当該施設と連携を図り、適切に給付を実施することができた。 ④令和元年10月から幼児教育無償化により3歳以上児については、副食費のみの負担となったが、利用者の負担額を2分の1助成することにより、保護者の負担を軽減することができた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	①②③④特になし		今後も継続して実施していく。			
評価委員の意見・提言	今後も子育て支援充実のため、継続して事業を進めていただきたい。					

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	ウ 子育て支援センター事業の推進				
取り組みの概要 (事務事業)	①子育て支援体制の連携				
実施状況	①・子育てセミナーについて、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、事業のみ中止とし、他の事業については、状況を見ながら実施した。 ・社会教育事業のブックスタートに同行し、幼児期の読み聞かせの大切さなど周知した。 ・各保育所で月1回の保育所開放を実施し、保育所との連携を図っている。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(元年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	子育て支援センター運営事業	4,865	2,836	2,316	0
評価	①・子育て支援センターでは、子育て支援に関するアンケートを実施しており、各種事業は概ね好評を得ており、子育てセミナーについては、新型コロナウイルス感染症対策のため、事業を中止とした。 ・保育所開放は各保育所月1回実施し定着しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止等で中止することがあり、予定していた回数より少ない実施となっている。 (利用延べ人数 保護者、乳幼児 284名)				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①特になし	・子育てセミナーは、毎年実施している子育て支援に関するアンケートを踏まえて、関係機関の協力を得ながら、より親しみのある事業内容の実施に努める。 ・保育所開放は定着しているので継続して行っていく。			
評価委員の意見・提言	新型コロナウイルスの感染予防対策を行い、関係機関との連携のもと、今後とも利用者ニーズを把握しながら、事業の充実に努めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	イ 保育所の運営充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①幼・保・小連携の充実の活動推進 ②新型コロナウイルス感染症対策(予防対策用品購入)				
実施状況	①・小学校参観日等に所長若しくは保育士の参加により、学校での就学した児童の様子の見学を実施するとともに、意見交換を行った。 ・3月には保育所児童要録(小学校就学児対象)を個別に作成し、持参による提出で各小学校へ引継ぎを行い連携を図った。 ②・新型コロナウイルス感染症対策の感染リスクの軽減のため、町内保育所ウイルス除去対策に伴う消耗品及び備品購入(ソープディスペンサー、空気清浄機、加湿機)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①保育の質の向上のための研修事業	43	0	0	0
	②新型コロナウイルス感染症対策	0	3,165	2,000	0
評価	①児童要録は教育にかかわる視点で「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の項目で構成されており、具体目標に沿った児童の状況を記載している。小学校教員と直接引継ぎを行っているほか、学校側からの保育所への期待など確認し保育に取り入れている。 ②コロナ禍における保育所での感染拡大防止が図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②特になし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学校・幼稚園・保育所、教員・幼稚園教諭・保育士相互の交流を通じ、就学に向けて必要な連携を図っていく。</li> <li>・平成30年度より適用された児童要録はより具体的に記載することにより、児童の状況をより具体的に引継ぎを行うことができる。記載の表現など研修を重ねていく。</li> <li>・保健師および小学校との連携により、支援を要する児童も含めたスムーズな就学に向けた取り組みを図る。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれないため、今後においても、引き続き適切な感染予防対策を講じる。</li> </ul>			
評価委員の意見・提言	幼・保・小の連携が重要なことから、今後とも引き続き、連携の充実に努めるとともに、感染予防対策の徹底を行い、感染者を出さないような保育所運営を行っていただきたい。				

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	I 幼児期の保育及び教育の推進				
主要施策	エ 保育施設の整備				
取り組みの概要(事務事業)	①本町保育所と入江保育所の統合移築の推進				
実施状況	①虻田小学校を統合移築先とし決定していましたが、少人数学級が本格導入されたときに活用すべき空き教室がなく、校舎の増築により教室の確保が必要になるなど、新たな課題が出てきたことから、再検討した結果、町有地である「みんなの森公園」付近を新たな候補地として選定した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(元年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①本町保育所と入江保育所の統合移築	0	0	0	0
評価	①統合移築先に選定した土地は、健康福祉センターとあぶた読書の家に囲まれた土地であり、みんなの森公園に隣接していることから緑も多く、子どもたちに良好な保育環境を提供することができる。				
達成度	A	説明	一部変更となったが予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①保育所の配置	今後、基本計画を策定し、3案程度の中から配置等を検討していく			
評価委員の意見・提言	基本計画を策定し、スケジュールに沿って整備を進めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その1》				
取り組みの概要(事務事業)	①コミュニティ・スクールの実施 ②小中連携の実施 ③スタンダード5研修委員会による新たな学力向上指標(スタンダード5)の浸透 ④GIGAスクール構想の推進				
実施状況	①平成29年度より洞爺地区でコミュニティ・スクールを導入し、虻田地区においては平成30年度より導入しており、令和2年度においては、コロナ禍の影響もあり、運営協議会は、書面会議(洞爺地区合同2回、虻田地区合同1回、単独1回)と実際の会議(洞爺地区は洞爺中単独で1回)を併用して行った。 ②虻田中学校区と洞爺中学校区で小中の交流・連携を進めた。 ・両校区とも、コロナ禍の影響もあり、今までのような授業の乗り入れはできなかったが、町教育研究会のブロック研修等で生徒指導情報の交流や生徒指導体制の交流を行い、小・中の連携を進めた。 ・また、新年度を迎えるにあたり、小学校の児童の情報の細やかな引継や日常的な児童生徒の情報交流を行っている。 ③スタンダード5研修委員会のもと、新学習指導要領に立脚した新たな学力向上指標づくりを行い、学校、子ども、保護者にその浸透を図るため指標による取組を親しみやすい図表にデザインし、各校に配布した。 ④文部科学省の補助事業を活用し、一人一台端末の整備を実施した。また、より良い授業実現するため教員向けのICT支援講習会を実施した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①コミュニティ・スクールの町内全校実施	225	14	0	0
	②小中連携の実施	0	0	0	0
	③スタンダード5研修委員会の開催	231	137	0	0
④GIGAスクール構想の推進	0	44,990	20,360	0	
評価	①町内各校に設置されているコミュニティ・スクール体制により、コロナ禍の中にあり書面会議での開催が大半を占め、通常開催ができなかった。 ②小中連携においては、コロナ禍により、授業の相互乗り入れはできなかったが、生徒指導の交流や小から中へと進む際に細やかな情報の引継など、日常的な交流・連携ができた。 ③スタンダード5が各校に浸透し、子ども達や保護者も指標を理解した上で町内小・中学校が共通の指標のもとで学力向上に取り組むことができた。 ④GIGAスクール構想により、一人一台端末を整備した。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①通常会議の開催 ②③特になし ④ICT教育の促進		①通常会議を開催し、学校教育の推進を図る。 ②今後も積極的に取り組んでいく。 ③新たなスタンダード5により、今後も取り組んでいく。 ④今後も教員向けのICT支援に取り組み、より良い授業の実現を図る。		
評価委員の意見・提言	今後も、授業の充実を図るため、GIGAスクール構想で整備した端末の活用、調査研究を進めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その2》				
取り組みの概要(事務事業)	①教育指導専門員の配置 ②全国学力・学習状況調査 ③学習支援員の配置				
実施状況	①引き続き1名配置した。(平成27年度から配置) ②当初は中止としていた令和2年度全国学力・学習状況調査を、国からの依頼により、町内全小中学校を対象に、公開しない方式により実施し、町内の調査結果を分析した。 ③基礎学力向上を図るために、学習支援員3名を配置した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(元年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①教育指導専門員の配置	2,879	2,975	0	0
	②全国学力・学習状況調査	0	0	0	0
	③学習支援員の配置	6,756	7,412	0	0
評価	①教育指導専門員の配置により、教育委員会として各学校へ専門的な指導、アドバイスができた。 ②全国学力・学習状況調査の実施及び独自の学力調査の実施により、現状の傾向や課題を把握し、分析し、児童生徒個々の教科指導が図られている。 ③町独自の学力向上対策のための支援員の配置により、授業の円滑化や学習姿勢、意欲の意識向上とともに、令和2年度は令和元年度と比べ学力向上が図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①特になし ②全国学力・学習状況調査の結果活用 ③学力の向上		①引き続き配置を継続する。 ②学力向上に向けた取組として、全国学力・学習状況調査における現状の傾向や課題の把握、分析をはじめ各学校の取り組みの充実を図るため継続して実施する。 ③引き続き、学習支援員の配置を行っていく。		
評価委員の意見・提言	学力向上のため、引き続き事業を進めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課			
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進					
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その4》					
取り組みの概要(事務事業)	①働き方改革の推進					
実施状況	①令和元年度に設置した留守番電話及びタイムレコーダーの運用を開始した。また、学校閉庁日の完全取得(年間9日間)や学校閉庁日の連絡体制の構築(見直し)を行った。さらに、中学校においては、学校の働き方改革を踏まえ、部活動における休養日を週2日以上設けることや1日の活動時間を平日は2時間程度、休日は4時間程度とする部活動の適切な休養日の設定を行った。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	①働き方改革の推進		451	0	0	0
評価	・タイムレコーダーの設置により出退勤の状況を把握することができた。また、留守番電話の設置や学校閉庁日の完全取得、部活動における適切な休養日の設定により教職員の勤務負担の軽減に向けた取り組みを進めることができた。					
達成度	A	説明	概ね達成できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	①教員の勤務時間の短縮		①働き方改革指針に基づき、児童生徒の多様な学びを止めることなく、教職員一人一人の意識改革とともに、勤務時間縮減の取り組みを進める。			
評価委員の意見・提言	学校閉庁日や部活動における休養日の設定などにより、働き方改革が進められているが、時間外勤務時間縮減などの取り組みを、今後も進めていただきたい。					



事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ア 学校運営の充実《取組その3》				
取り組みの概要(事務事業)	①独自学力検査の実施 ②中学生実用英語検定・漢字検定料助成				
実施状況	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施した。 ②実用英語技能検定及び日本漢字能力検定料について当該年度の1回分を助成した。 * 受験者数 イ 実用英語技能検定 57名(受験率 34%) 前年度50名(受験率 26%) ロ 日本漢字能力検定 43名(受験率 25%) 前年度33名(受験率 17%)				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①独自学力検査の実施	540	441	0	0
	②実用英語検定・漢字検定料の助成	184	256	0	0
評価	①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」を実施により、児童生徒個々の教科指導が図られている。 ②学習意欲の向上が図られ、各種検定の受験率が増加した。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①学力の向上 ②参加者の増及び学力の向上		①町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施など、引き続き支援していく。 ②3年目の実施であったが、参加者が徐々に増加していることから、今後も参加者の増を図るとともに、学習意欲の向上を図り、学力の向上につなげる取り組みとしては有効と思われることから、引き続き実施していく。		
評価委員の意見・提言	漢検と英検については、学習意欲の向上に繋げる取り組みとして、今後も必要であると考えられることから、引き続き実施していただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	イ 特別支援教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①介護員・支援員の配置 ②指導計画・教育支援計画の充実				
実施状況	①特別支援教育支援員5名、特別支援学級介護員7名及び外国から転入した児童生徒対応学習支援員2名を配置した。 ②特別な支援を要する児童生徒への個別の教育指導計画や個別の教育支援計画の策定を進めている。また、子どもたちの育ちと学びを支えるため、個別の支援ファイルを配布し活用を図るようにした。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①介護員・支援員の配置	29,400	27,442	0	0
	②指導計画・教育支援計画の充実 (支援ファイル「すくすく」作成費)	51	45	0	0
評価	①支援員及び介護員の配置により、特別な支援を要する児童生徒への柔軟な対応や、授業自体の円滑化を図ることができた。なお、令和元年度より外国から転入した児童生徒対応の学習支援員1名を初めて配置したが、当該児童は日本での学校生活に馴染み、楽しんで通学することができている。 ②個別の教育支援計画については、町内小中学校共通の様式を作成したことにより、町内で統一した発達や発育を総合的に捉えることができ、子どもの課題も整理された。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①介護員、支援員の確保 ②支援ファイルの活用促進		①授業を円滑に行うため、適正な配置を考慮しながら、継続して配置をする。 ②活用の充実を図るため、保護者・関係機関と連携・協議して進めていく。		
評価委員の意見・提言	これまでの取り組みを継続し、特別支援教育の充実に努めていただきたい。				

令和3年度(令和2年度実施)事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その1》				
取り組みの概要(事務事業)	①体力向上の推進 ②フッ化物洗口事業 ③いじめ、問題行動、不登校等への対応				
実施状況	①新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施するに至らなかった。 ②町内3小学校及び町内2中学校の全てでフッ化物洗口普及事業を実施した。③年2回の道教委のいじめに関するアンケート調査、学校独自のアンケート調査に加え、心理テスト(ハイパーQU)を実施した。また、必要に応じて、スクールカウンセラーの派遣を実施した。不登校児童生徒については、読書の家において、教育指導専門員が児童生徒の心のケアも含めて学習の支援を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①体力向上の推進	0	0	0	0
	②フッ化物洗口事業の実施	198	275	0	0
③いじめ、問題行動、不登校等への対応	415	388	0	0	
評価	①新型コロナウイルス感染症の拡大により令和2年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施するに至らなかった。 ②保護者の理解を深め、関係機関と連携を図り、フッ化物洗口事業を円滑に実施できた。 ③アンケート調査や心理テストの結果を検証し、いじめに関する早期発見及び所要の対応を的確に実施することができた。また、必要に応じたスクールカウンセラーの派遣により、円滑な学校運営を図ることができた。不登校児童生徒については、教育指導専門員を配置し児童生徒の心のケアを含め学習の支援を行ったが、年度当初10人であった不登校児童生徒が、年度末には19人に増加した。				
達成度	B	説明	達成度は比較的高い。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①特になし ②特になし ③心理テストの有効活用		①今後も体力向上のため、各学校の取組充実と併せ現状の取組を推進していく。②今後も継続して実施していく。③いじめ、問題行動、不登校等への対応として、スクールカウンセラーの派遣を今後も継続する。心理テストについては、原則年2回として実施し有効活用を図る。また、不登校児童生徒対策については、教師間及び保護者との連携を図り、必要な場合は福祉部局と連携も検討のうえ、迅速かつ生徒に寄り添った対応を図るよう努める。		
評価委員の意見・提言	家庭や関係機関が連携し、より一層いじめ、不登校などに対する取り組みを進めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ウ 特別教育等の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①環境教育、防災教育の推進				
実施状況	①環境教育については、温泉小学校の「緑はどうなった」事業など、各学校の状況により実施された。特に防災教育では、ジオパーク野外学習テキストを基に、洞爺湖有珠火山マイスターの協力による体験学習授業を行った。 また、虻田中学校においては、1日防災学校を行い、全学年で防災学習を体験した。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①環境教育、防災教育の推進(避難所開設体験学習会)	65	0	0	0
評価	①各学校の実情にあわせた防災教育・環境教育が行われている。また、1日防災学校では防災学習を体験することで児童生徒の防災に対する意識付けが図られてきている。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①1日防災学校の実施内容等の検討		①実施内容の更なる充実を図る。		
評価委員の意見・提言	近年、全国各地において災害が頻繁に発生していることから、有珠山噴火を経験している当町の現状を踏まえ、防災学習や環境学習の推進に引き続き努めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課			
推進項目	II 学校教育の推進					
主要施策	エ 児童生徒の健康及び安全の充実《取組その2》					
取り組みの概要(事務事業)	①通学路の安全確保 ②各種安全教室等の開催 ③新型コロナウイルス感染症対策					
実施状況	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。 ②地震や火災を想定した避難訓練、交通安全教室、薬物乱用防止教室などを実施した。 ③新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策として各学校に消毒サポート員の配置、空気清浄機や空間除菌脱臭機の購入、網戸や水道蛇口の取替等を実施した。また、虻田小学校では3密を回避するため多目的ホールや図書室で授業ができるようブルーヒーターの整備や照明を明るくするなど適切な感染予防策を講じた。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	①通学路の安全確保		0	0	0	0
	②各種安全教室等の開催		0	0	0	0
	③新型コロナウイルス感染症対策		0	16,605	12,900	0
評価	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とした。 ②各種安全教室の実施により、児童生徒の安全対応能力や防犯意識の向上が図られた。 ③コロナ禍における学校での感染拡大防止が図られた。					
達成度	A	説明	概ね達成できた。			
課題と対応方向	課題			対応方向		
	①②③特になし			①通学路等の安全確保に向け、合同点検を実施し、安全対策の推進に努める。 ②今後も各学校の実情に応じて継続する。 ③引き続き適切な感染予防対策を講じる。		
評価委員の意見・提言	児童・生徒の安全確保のため、今後も関係機関と連携し、事業の充実に努めていただきたい。					

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	オ 高校教育の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①虻田高校への支援 ②「虻田高等学校の未来づくりに関する提言書」に基づく事業				
実施状況	①「虻田高等学校の未来づくりに関する提言書」に基づく支援事業を行った。 ②「提言書」を実行性のあるものとするため、虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会を発足し、企業訪問を行った。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①虻田高校への支援	2,414	3,257	0	0
	②虻高未来づくりフォローアップ推進委員会活動事業	0	40	0	0
評価	①生徒募集活動等必要な支援を行うことができた。 ②虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会を発足し、提言書の評価・検証を行った。				
達成度	B	説明	達成度は比較的高い		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①入学者20名以上につながる支援策 ②提言書としてまとめた意見を次へつなげる活動の推進		①②虻高未来づくり推進会議で虻高の魅力化の発信及び入学者増となるような支援策を検討・協議し、提言としてまとめた内容を実行していく。また、既存の支援策の評価・検証及び新たな高校の魅力化の検討については、虻高未来づくりフォローアップ活動推進委員会の中で協議を行い、入学者増に努める。		
評価委員の意見・提言	引き続き、虻田高等学校の未来づくりに関する提言書に沿った事業の取り組みを進めていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	カ 学校施設の整備				
取り組みの概要(事務事業)	①学校施設の維持・管理の推進				
実施状況	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部実施できない工事があったが、町内小中学校施設に係る工事及び修繕をおおむね実施した。 なお、実施できなかった工事については、次年度に予算計上済み。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①学校施設の維持・管理の推進	17,636	10,282	0	0
評価	①学校施設の維持・管理については、児童生徒の安全を優先し必要箇所の工事、修繕を行った。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①老朽化した施設の改修		①学校施設の長寿命化計画等、老朽化対策を計画的に行っていく必要がある。		
評価委員の意見・提言	児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、学校施設の維持・管理に努めていただきたい。				

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	ク 進学支援の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①育英資金貸付及び給付事業 ②育英資金特別給付金支給事業				
実施状況	①【入学時給付金】 給付金額 高校・高等専門学校 5万円(8万円)、専修学校・大学 10万円(15万円) 令和2年度給付実績～高校 0名(2名)、高等専門学校 0名(0名)、 専修学校・大学 0名(2名) 【学資金】 貸付基準額(月額:以下の金額以内) 高校 1万円(1.2万円)、高等専門学校 1.3万円(1.5万円) 専修学校・大学 1.8万円(2.1万円) 令和2年度貸付実績～高校 0名(0名)、高等専門学校 0名(0名)、 専修学校・大学 0名(0名) 【入学時一時金】 貸付基準額(以下の金額以内) 公立高校 20万円、私立高校 30万円、高等専門学校 30万円、専修学校・大学 50万円 令和2年度貸付実績～公立高校 0名(1名)、私立高校 0名(0名)、 高等専門学校 0名(0名)、専修学校・大学 0名(0名) ②新型コロナウイルス感染症の影響により修学の継続が危ぶまれる学生に就学継続のための、経済負担の軽減策として特別給付金を支給した。114件				
事業費	事務事業	貸付額等(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①育英資金の基金貸付及び給付事業	1,192	(660)	0	0
②学生支援特別給付金支給事業	0	6,840	6,780		
評価	①育英資金の更なる充実とともに、学校教育に関連する事業への活用を図るため、洞爺湖町育英資金の基金条例を一部改正(R3.4.1 施行)したことにより、令和3年度に給付しているため、令和2年度については、給付実績がなかった。 ②保護者及び学生への経済負担の軽減を図ることができた。				
達成度	A	説明	概ね達成できた。		
課題と対応方向	課題	対応方向			
	①②特になし	学資金については、ふるさと納税の指定寄附により資金の確保はできている。さらなる周知に努め、有効な運営を図っていく。			
評価委員の意見・提言	適正な運用により、今後とも有効活用を進めていただきたい。				



事務事業評価シート

		担当課	管理課		
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進				
主要施策	キ 地域交流事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	①箱根町との中学生交流 ②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル				
実施状況	両事業とも、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。				
事業費	事務事業	決算額(千円)		特定財源(2年度)	
		元年度	2年度	国・道	その他
	①箱根町との中学生交流	932	0	0	0
	②洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル	480	0	0	0
評価	未実施				
達成度	—	説明	実施できなかった。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	①②今後の実施方法の検討		①は、親善交流の重要な事業であり、②は地域住民に学校での教育活動の成果の一旦を発信できる機会であるので、今後のコロナ禍でも実施できる内容を検討する。		
評価委員の意見・提言	新型コロナウイルスの感染拡大により、事業が中止となったが、今後、コロナ禍においても実施できるよう、内容を検討し事業の継続をしていただきたい。				

事務事業評価シート

		担当課	学校給食センター			
推進項目	Ⅱ 学校教育の推進					
主要施策	ケ. 学校給食(施設等)の充実					
取り組みの概要 (事務事業)	①給食センターの管理・運営					
	②食育活動の充実					
	③新型コロナウイルス感染症対策(給食費の一部免除)					
実施状況	①ハサップに沿った衛生管理・運営を行い安心・安全な給食提供を行った。また、異物混入事故防止のために、食品開封専用パックカッターを購入し使用し、調理中のエプロンもビニール製から布製に替える等改善に努めた。					
	②安心・安全で栄養バランスの取れた給食提供を行うと共に、地場産品の野菜を購入し給食食材に使用した。また、栄養教諭による食育授業を行い食の指導を行った。					
	③新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う学校の臨時休業による保護者の経済的負担軽減対策として4月、5月分給食費の免除を行った。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	①給食センターの管理運営費		51,492	50,332	319	1,200
	②食育活動の充実		0	0	0	0
③新型コロナウイルス感染症対策		0	1,492	1,492	0	
評価	① 給食提供数は1日約532食・年間総数 101,196 食を、調理後2時間以内に喫食出来る様計画的に提供先6校(虻田高校含む)へ適切に配送を行った。給食費については、両センターともに納入率100%を達成出来た。(給食費納入額:虻田給食センター 21,798,620円・洞爺給食センター 6,125,260円)					
	②栄養教諭による食の指導等食育活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中学校への訪問を見合わせた。また、食物アレルギー対応では虻田給食センター除去食6名、代替飲料3名、洞爺給食センター除去食3名の給食対応を行い給食事故のない提供に努めた。					
	③4、5月分の計13食分の給食費の免除を行い、新型コロナウイルス感染症に伴う保護者の経済的負担の軽減を行った。					
達成度	A	説明	概ね達成出来た。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	①給食センターの管理・運営の検討		両施設ともに経年劣化が進んでいる事から、施設・機器の維持管理に努め長寿命化に努める。また、学校給食センターの統合を含めた今後の方向性を検討する。			
	②食育活動の充実		栄養教諭による食育活動の充実を図り、児童・生徒への正しい食の知識向上を図ると共に地場産品の使用継続を行う。			
③特になし		引き続き感染予防に努める。				
評価委員の意見・提言	今後とも、安心・安全でおいしい充実した給食の提供に努めていただきたい。					

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進					
主要施策	イ 少年事業の充実 (取組その2)					
取り組みの概要 (事務事業)	①放課後児童健全育成事業(町内3箇所において学童保育を実施) ②学校支援地域本部事業 ③学習支援事業「地域未来塾」の実施 (公設の無料学習塾)					
実施状況	①虻田地区(風っ子)23名、温泉地区(洞爺湖クラブ)12名、洞爺地区(とうや児童クラブ)16名利用。 ②45組の個人・団体が学校支援ボランティアに登録した。 ③新型コロナウイルス感染症対策により、予定より3か月遅れの開始となったが、9月～2月の期間中、小中学生を対象に母と子の館(虻田地区)、洞爺総合センター(洞爺地区)主会場として、曜日を定めて常設を実施した。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	① 放課後児童健全育成事業		17,703	18,086	10,608	1,610
	② 学校支援地域本部事業		0	0	0	0
③ 地域未来塾		1,939	1,464	692	0	
評価	① 開所時間延長実施後は、利用者から好評をいただき実施している。 ② 学校支援地域本部事業は、学校が求めるボランティアの活用が図られた。 ③ 地域未来塾の実施により、学習習慣を身に付け、基礎学力向上に向けた事業実施が図られている。(平成28年度延べ1,065人、平成29年度延べ1,718人、平成30年度延べ1,392人、令和元年延べ1,046人、令和2年度延べ445人)					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	① 支援員体制確保		支援員の確保策を検討する。			
	② 体制の強化		登録ボランティアの活動を推進するため、関係機関との連携を強化する。			
③ 実施内容の充実		次年度より、ICTを活用した遠隔ライブ授業を導入。				
評価委員の意見・提言	放課後児童健全育成事業については、支援員の人材確保に取り組み、事業の充実に努めていただきたい。					

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅲ 社会教育の推進				
主要施策	ア 乳幼児事業の充実				
取り組みの概要 (事務事業)	① ブックスタート事業(生後7カ月の乳幼児健診時に絵本を贈呈) ② 子育てメソッド形成事業(家庭教育に関する情報の提供) ※メソッド=目的を達成するための方法 ③ 子育てセミナーの活動支援(セミナーの開催により親同士の情報交換の場の提供)				
実施状況	① 生後7ヶ月の乳児健診を利用し、本を通して親子のふれあいと心や言葉の発達を促し、子育てに対する意識を育てる事業(本の贈呈)を実施した。(参加31名) ② 小学校新入学児童説明会を利用して、保護者に対し家庭における余暇の過ごし方等の情報提供や資料配布により、親子のふれあいの時間を考える機会の提供した。 ③ 新型コロナウイルス感染症対策により中止				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)
			元年度	2年度	国・道 その他
	① ブックスタート事業		40	35	0 0
	② 子育てメソッド形成事業		0	0	0 0
	③ 子育てセミナー		0	0	0 0
評価	① 親子で絵本を楽しむことで、親子のふれあいの時間を提供するなど予定どおり実施できた。 ② 保護者に対し、家庭でテレビやゲームのスイッチを切って読書や談話など、親子のふれあいの時間の大切さなどの情報発信を行い、家庭教育の推進が図れた。 また、小学校においてもノーゲームデーを設けるなどして取り組んでいる。 ③ 子育て支援センターにより、子育てに関するアンケートを実施し、今後の事業推進へ活用することとする。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と 対応方向	課題		対応方向		
	① 贈呈後のフォローアップ		読書の家の活用案内など継続性のある利用促進。		
	② 事業の推進		情報の発信による啓発機会の充実。		
	③ 特になし				
評価委員の 意見・提言	乳幼児期は大切な時期であり、事業の充実を図りながら、今後も継続していただきたい。				

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課	
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興			
主要施策	イ 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実（取組その1）			
取り組みの概要 (事務事業)	① 高砂貝塚の保存整備事業			
実施状況	① 高砂貝塚環境整備等経費 169,804千円 (解説板等整備、駐車場整備、貝塚館増築工事、展示改修)			
事業費	事務事業		決算額(千円)	
			元年度	2年度
	① 高砂貝塚保存整備事業		14,483	169,804
				特定財源(2年度)
				国・道
				その他
				115,385
				49,800
評価	① 平成27年度から6か年計画で整備を実施。高砂貝塚については解説板等整備、駐車場整備、貝塚館増築工事、展示改修整備が完成した。			
達成度	A	説明	縄文ロード整備など、一部工事を繰越したがその他は予定どおり実施できた。	
課題と対応方向	課題		対応方向	
	① 計画に基づく整備 活用に向けた取 組み		周辺施設を含めた整備(縄文ロード整備)。 縄文への理解を深めるための活用(ソフト事業)の計画、実施。	
評価委員の 意見・提言	一部整備が繰り越されたが、その他は予定どおり進められ、保存整備事業が完成したところであるが、今後は施設の有効活用を図られたい。			

令和2年度(令和元年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興					
主要施策	ウ 町内文化財の保存活用					
取り組みの概要(事務事業)	① 充実した施設の運用 ② 指定文化財の保存と活用 ③ アイヌ語地名マップの作成					
実施状況	① 入江・高砂貝塚館の展示改修により、虻田郷土資料館に縄文時代の遺物の展示を行った。 ② 洞爺湖町指定文化財である各獅子舞保存会への支援(月浦獅子舞、香川獅子舞、曙獅子舞) 香川及び曙獅子舞へ備品の整備(半纏)のため、支援を行った。 ③ 町内のアイヌ語地名やアイヌ民族の伝承等を冊子にまとめた。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	① 郷土資料館特別展	0	0	0	0	
	② 各獅子舞保存会補助金	388	880	0	0	
	③ アイヌ語地名マップの作成	0	1,159	927	0	
評価	① 入江・高砂貝塚館の展示改修により、虻田郷土資料館に縄文時代の遺物の展示を行い、貝塚館閉館期間においても縄文の価値を伝えることができた。 ② 香川及び曙獅子舞保存会に対して必要となる備品の支援をすることができた。 ③ アイヌ語地名マップの作成により、今後の普及活動に対する準備ができた。					
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	① 定期的な展示替え・資料の収集		今後は町の歴史や、アイヌ文化に関する展示を行い、貝塚館との関連で見学できるよう努める。			
	② 指定文化財へのさらなる支援		今後も各保存会と連携し、指定文化財の保存と継承に努める。			
③ アイヌ語地名マップの活用		今後は冊子の配布、マップを活用した事業等を実施し、町の歴史の周知に努める。				
評価委員の意見・提言	貴重な郷土資料の適正な保存管理に努めるとともに、引き続き獅子舞保存会の保存伝承への取組支援、更には、新たに作成したアイヌ語地名マップの有効活用に努めていただきたい。					

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興				
主要施策	イ 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実（取組その2）				
取り組みの概要 (事務事業)	① 縄文遺跡群の世界遺産登録推進事業 (北海道・北東北の縄文遺跡群として世界遺産登録に向けて4道県(北海道、青森県、岩手県、秋田県)の17遺跡からなる考古学的資産)				
実施状況	① 縄文遺跡群世界遺産登録推進事業 イコモス(国際記念物遺跡会議)による現地審査への対応(9月)。 景観計画策定委員会による、景観計画の検討及び条例の制定を行った。 世界遺産共通パネルの製作				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)
			元年度	2年度	国・道
	① 縄文世界遺産登録推進事業(負担金)		782	630	0
評価	① イコモス現地審査については、予定通り行われた。 景観計画については、策定委員会を4回開催し、計画の骨子及び景観条例の内容をまとめた。 世界遺産共通パネルについては、入江貝塚及び高砂貝塚に設置した。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 登録及び景観計画策定に向けた取組		イコモス現地審査を終了し、登録に向けて取り組んでいく。また、景観計画の早期策定に向け、関係機関と連携して取り組んでいく(景観計画はR3.6月までに策定予定)。 世界遺産としての価値等、普及に努める。		
評価委員の意見・提言	イコモスによる現地審査も終えて、世界遺産登録に向けた準備が着実に進められた。 今後は関係市町・機関と連携し、世界遺産登録を見据え、遺跡の価値の情報発信など、一層の普及に向けた取り組みに努めていただきたい。				

令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課		
推進項目	Ⅳ 芸術文化の振興				
主要施策	エ 読書活動の振興				
取り組みの概要 (事務事業)	① 読書環境・活動の充実 ② 読書感想画・読書紹介文募集事業				
実施状況	① あぶた読書の家での読み聞かせ(定期)及び読書週間での読み聞かせイベントなどを実施した。洞爺総合センターでの図書室こどもまつりは、コロナウイルスの影響で中止となった。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業(220名)				
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)
			元年度	2年度	国・道 その他
	① 読み聞かせ		20	0	0 0
	① 読書の家維持管理事業		6,258	6,987	0 0
	② 読書感想画・紹介文募集事業		14	14	0 0
評価	① 子どもが読書に親しみ、本を読むきっかけづくりができた。また、学校や福祉施設へ毎月まとまった冊数を定期貸出が定着し貸出数の増に繋がった。 ② 読書感想画、読書紹介文募集事業を洞爺湖ロータリークラブとの共催で継続実施。虻田中学校の全校取り組みもあり、継続した取り組みが図られた。				
達成度	A	説明	予定どおり実施できた。		
課題と対応方向	課題		対応方向		
	① 施設の利用促進		図書関連行事等の情報発信やサークルの支援に努める。		
	② 活動の充実		共催団体と連携し、学校などへの働きかけに努める。		
評価委員の意見・提言	利用者ニーズに沿った図書を整備するなど、読書活動の振興につながる取り組みを進めていただきたい。				



令和3年度(令和2年度実施)

事務事業評価シート

		担当課	社会教育課			
推進項目	Ⅵ 社会教育施設及び社会体育施設の充実等					
主要施策	ア 社会教育施設及び社会体育施設の整備					
取り組みの概要(事務事業)	① 施設の維持管理 ② 旧洞爺湖温泉中学校体育館の有効活用の協議					
実施状況	① 社会教育施設及び体育施設においては、円滑な定期利用調整を図れた。 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、施設を休館とした。 ② 旧洞爺湖温泉中学校体育館の施設活用については、地域の方々や関係団体等と、地域やスポーツ団体の体育振興や指定避難所としての役割を含めて施設の活用にむけた協議を行った。					
事業費	事務事業		決算額(千円)		特定財源(2年度)	
			元年度	2年度	国・道	その他
	① 社会教育施設維持管理事業		14,697	15,078	0	347
	① 体育施設運営事業		12,534	10,564	0	112
② 旧洞爺湖温泉中学校体育館活用協議		0	0	0	0	
評価	① 社会教育施設及び体育施設の利用において、必要な修繕を行いながら、利用者の安全確保に努め、サークル活動の支援やスポーツ推進を図れた。 ② 旧洞爺湖温泉中学校体育館については、体育館の整備と有効な利活用に向けて協議を進めた。					
達成度	A	説明	既存の施設において必要な整備を行うことで、利用者の安全確保や設備等の充実が図られた。			
課題と対応方向	課題		対応方向			
	① 安全安心なスポーツの推進		施設利用者の安全に努め、適正な維持管理を行う。			
② 整備内容の検討・協議		体育館について、社会教育事業として地域住民並びに利用団体の利用がないことの確認を取れた。 このことから、今後は普通財産としての利活用について協議を進めることとなった。				
評価委員の意見・提言	施設については、安全確保を図りながら適正な維持管理に努め、引き続き利用促進に取り組んでいただきたい。					

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策により中止とした事業一覧

番号	推進項目	主要施策	取組の概要	例年の実施状況等
1	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	①洞爺湖GENKIDS	小4～中学生を対象とした社会体験クラブの実施
2	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	②ボードゲームなど電子機器を使用しないゲームの奨励	アウトドアスポーツ、ドイツゲーム等の推進(レイクスports等)
3	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	③三豊市との小学生交流事業	ふるさと・ふれあい・フレンドリーツアー
4	Ⅲ 社会教育の推進	イ. 少年教育の充実	⑦少年の主張大会	町内中学生(虻田中学校、洞爺中学校)選抜6名による主張大会
5	Ⅲ 社会教育の推進	ウ. 青年・成人教育の充実	①成人式、成人のつどい実施	令和3年8月15日実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大等により中止
6	Ⅲ 社会教育の推進	ウ. 青年・成人教育の充実	②人づくり育成事業の実施	人材育成及び地域活性化を目的に、国内先進地の視察研修費用を助成
7	Ⅲ 社会教育の推進	エ. 女性事業の充実	①女性団体の活動支援	女性団体に対する補助金により、団体の自主的な活動を支援
8	Ⅲ 社会教育の推進	エ. 女性事業の充実	②リーダー養成研修の充実	胆振女性リーダー養成研修参加
9	Ⅲ 社会教育の推進	オ. 男女共同参画事業の充実	①きずな学級の開催	男女を問わず身近なテーマを掲げ、地域づくりや活動促進、男女共同参画などを考える講演会等の実施
10	Ⅲ 社会教育の推進	カ. 高齢者事業の充実	①高齢者事業等の実施	いきいき学園(地域の指導者や学習資源を活用しながら多様な学習機会を提供)
11	Ⅳ 芸術文化の振興	ア. 芸術文化活動の充実	①各種発表会等の開催、支援	総合文化祭(虻田地区)、洞爺湖町民文化祭(洞爺地区)の開催
12	Ⅳ 芸術文化の振興	ア. 芸術文化活動の充実	②美術見学の機会の提供	美術館や博物館を巡り、鑑賞の機会を提供
13	Ⅳ 芸術文化の振興	イ. 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実	②縄文まつり等企画事業	縄文まつり(入江貝塚公園)縄文ロビー講座(ふれ合いセンター)文化財防火デー等の実施
14	Ⅳ 芸術文化の振興	イ. 入江・高砂貝塚保存整備・運営の充実	③史跡めぐりウォークラリー	郷土の理解と文化財等に関する学習、健康増進
15	Ⅴ スポーツ活動の推進	ア. 体育振興事業の充実	①体育振興事業の充実	スポーツの普及推進を図るため、共催、後援事業を含めて、各種スポーツ大会や教室の開催において関係団体等と連携実施